研究成果報告書 科学研究費助成事業

今和 6 年 4 月 1 7 日現在

機関番号: 34316

研究種目: 基盤研究(B)(一般)

研究期間: 2020~2023

課題番号: 20H04431

研究課題名(和文)シエラレオネにおける当事者・家族主体のメンタルヘルスケア導入アクションリサーチ

研究課題名(英文)Action Research on Mental Health Care in Sierra Leone

研究代表者

落合 雄彦(Ochiai, Takehiko)

龍谷大学・法学部・教授

研究者番号:30296305

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 4.900.000円

研究成果の概要(和文):本研究課題では、シエラレオネで萌芽しつつある精神障害当事者・家族のセルフヘルプや組織化の動きに注目して現地調査を実施した。具体的には、同国の首都フリータウンで2014年に発足した精神障害当事者・家族の団体であるService Users and Family Members Association (SUFMA)を訪れて聞き取り調査を実施するとともに、日本でのメンタルヘルス関連の実践を伝えるためのワークショップを開催した。

研究成果の学術的意義や社会的意義 本研究課題の学術的な意義は、第一に、シエラレオネで萌芽したばかりの精神障害当事者・家族のセルフヘルプ や組織化の動きに焦点をあて、その動態を明らかにしたことにある。第二に、本研究課題では、日本におけるメ ンタルヘルス関連の諸実践の事例や教訓をシエラレオネ側の精神障害当事者・家族へと伝えることで、同国の精 神障害当事者・家族のセルフヘルプ運動を側面から支援することができた。

研究成果の概要(英文): In this research project, we conducted a field research focusing on the budding movement of self-help and empowerment for people with mental disabilities and their families in Sierra Leone. Specifically, we visited the Service Users and Family Members Association (SUFMA), an organization for people with mental disabilities and their families that was established in 2014 in Freetown, the capital of Sierra Leone, to conduct interviews, and held a workshop to inform Sierra Leonean people about mental health-related practices in Japan.

研究分野:アフリカ研究

キーワード: アフリカ シエラレオネ メンタルヘルス 当事者 エンパワメント 家族

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等に ついては、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1.研究開始当初の背景

西アフリカの小国シエラレオネでは、1990年代に激しい内戦が展開された。そして、その過程のなかで、少年たちがゲリラに誘拐されて児童兵にさせられたり、少女たちがゲリラ兵の「妻」として事実上の性的虐待を受けたりするなどの深刻な人権侵害状況が広範にみられた。また、ゲリラ兵が一般市民に対して四肢切断などの残虐な暴力行為を繰り返したり、マリファナ、ヘロイン、コカインなどの薬物が戦闘員や若者の間で広く乱用されたりした。こうした内戦下での暴力や薬物使用は、児童をはじめとする様々な社会階層の人々に対して、身体的な傷や障害に加えて、トラウマ、心的外傷後ストレス障害(PTSD)、神経症といった多くの心の問題を残した。さらに、2014年に突如発生したエボラ出血熱の感染拡大や2017年8月にフリータウンで生じた大規模な地滑りもまた、数千人単位の犠牲者を出すとともに、メンタルヘルスをめぐる課題をシエラレオネ社会に突き付ける結果となった。このほか、同国では、そうした戦争や災害などに起因する心のケアの問題だけではなく、通常ある一定の割合で生じる統合失調症などへの精神保健サービスの必要性も看過できない。

ところが、紛争後のシエラレオネでは、紛争前よりもメンタルヘルスケアに対するニーズが高まりをみせているにもかかわらず、紛争前に存在していたわずかばかりの精神保健関連施設は内戦によって大きな被害を受け、研究開始当初の約700~800万人の国民に対して、フォーマルな医療保健資源は驚くほどわずかでしかなかった。具体的にいえば、シエラレオネには当時、精神科病院は首都フリータウンに100床ほどの病院が1カ所あるのみであり、精神科医は全国で2名、精神科看護師は20名程度しかいなかった。

そうしたシエラレオネのように精神保健福祉施設がほとんど存在せず、フォーマルな精神保健サービスの提供が極めて限定的な社会では、家族や隣人、そして何よりも精神障害当事者自身をエンパワメントすることが重要なアプローチになる。シエラレオネでも 2014 年、精神障害者当事者・家族会が発足し、当事者と家族によるミーティングがフリータウンで月 1 回開催されるようになるなど、研究開始当初、メンタルヘルスの当事者・家族によるセルフヘルプと組織化の動きが萌芽しつつあった。しかし、そうしたメンタルヘルスの当事者・家族会の活動は、まだその端緒を開いたばかりであり、リーダーシップの上でも、事務能力の上でも、財政基盤の上でも極めて脆弱であって、何よりもその活動の目的や方向性が必ずしも明確に定まってはいなかった。シエラレオネにおいて真の意味での持続可能なコミュニティベースのメンタルヘルスケアを展開するためには、そうした当事者や家族の「力」が不可欠だが、研究開始当初はまだ、当事者・家族会は萌芽したばかりであり、その前途は依然として不透明であった。

2.研究の目的

本研究課題の目的は、精神障害当事者・家族のセルフヘルプやエンパワメントに関するこれまでの日本の豊かな知見や実践を適宜援用することで、シエラレオネで萌芽したばかりの精神障害当事者・家族によるセルフヘルプと組織化の動きを支援し、いわばその「開花」を側面から手助けすることにあった。具体的には、フリータウンで 2014 年に発足した精神障害当事者・家族会である Service Users and Family Members Association (SUFMA)との全面的な協力関係のもとで、「実践(アクション)」と「研究(リサーチ)」を融合したアクションリサーチを展開し、シエラレオネの当事者・家族会の課題を明確化するとともに、そのエンパワメントを図ることを目指した。

3.研究の方法

研究開始当初は国内での文献研究とシエラレオネでの現地調査 / 活動を実施する予定であった。ところが、予想だにしていなかったコロナ禍の発生ために、後者の現地調査 / 活動の実施が大幅に遅延してしまった。現地調査 / 活動に着手できたのは、4 年間の研究期間のうちの実に 3 年目のことであり、このことが現地調査 / 活動のあり方に大きな影響を及ぼした。

具体的には、当初1年目(2020年度)については、<知る>をテーマに、「当事者」と「家族」 に焦点をあてつつシエラレオネでの現地調査 / 活動を実施する予定であった。調査地はフリー タウンであり、「当事者」に関しては、 当事者・家族会に参加する当事者の基本属性(年齢、 性別、民族 》 診断名、 家族構成、 成育歴、病歴、 生活、 ニーズ、 ストレングス、 将来の希望、 当事者・家族会への期待など、について聞き取り調査を行う予定であった。他 方、「家族」に関しては、 当事者に対して日常生活レベルの支援を行っている家族が直面する 困難やニーズ、 当事者・家族会への期待などについて情報を収集するつもりでいた。なお、こ うした現地調査にあたっては、精神障害当事者・家族会の代表であるポール・カイカイ (Paul Kaikai)氏などの助言と協力を仰ぐこととしていた。また、2~3年目(2021~2022年度)には、 「当事者・家族会」の組織に焦点を当て、具体的には、精神障害当事者・家族会の組織運営に関 する情報収集を行うとともに、定例ミーティングに参加して参与観察を行うほか、過去の活動記 録や会運営のサポートをしている NGO スタッフなどへの聞き取り調査も実施する予定であっ た。そして、特に3年目(2022年度)からは、単に<知る>ための情報収集だけではなく、<

伝える>ための活動も開始し、具体的には、日本の「当事者研究」といったメンタルヘルス関連 実践をシエラレオネ側の当事者・家族に紹介することを目指した。そして、4年目(2023年度) には、<変わる>をテーマとしつつ、まず当事者・家族自身が主宰するセミナーを開催するとと もに、精神障害当事者・家族が自ら企画・出演するラジオ番組を制作し、フリタータウンの民間 FM 局から放送することを目指した。

しかし、コロナ禍のためにそうした現地でのアクションリサーチの実施が大幅に遅れてしまった結果、結局のところ、<知る> <伝える> <変わる> という研究活動の3 本柱のうち、<知る> と < 伝える> という2 つの活動までしか展開できず、シエラレオネ側の精神障害当事者・家族会が<変わる> という段階まではアクションリサーチをなかなか進展させることができなかった。

4.研究成果

本研究課題を通して、シエラレオネで萌芽したばかりの精神障害当事者・家族のセルフヘルプや組織化の動きについて詳細に情報収集するとともに、日本におけるメンタルヘルス関連の実践例などをシエラレオネ側に伝えることができた。そうした研究成果は、たとえば、金田知子「精神障害を生きる(I): あるシエラレオネ人女性のライフヒストリー(『女性学評論』37: 79–94, 2023)や Ochiai, Takehiko "Colonial Psychiatry in British West Africa: Dr Robert Cunyngham Brown's 1936 Visit to Advise and Report on the Care and Treatment of 'Lunatics'" (Asian Journal of African Studies, 54: 25–52, 2023)といった論文の形で発表した。また、落合雄彦「1950 年代のナイジェリアにおける精神科施設」(日本アフリカ学会第 58 回学術大会、2021 年)や落合雄彦「ガンビアからシエラレオネへ:1930 年代の英領西アフリカにおける精神病者の移送」(第 26 回日本精神医学史学会大会、2023 年)のような、シエラレオネを含む西アフリカ諸国のメンタルヘルスケア史に関する学会口頭発表をあわせて実施した。

5 . 主な発表論文等

「雑誌論文 〕 計9件(うち査読付論文 4件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 7件)

「推協調文」 計学 (フラ直説 引調文 4件/フラ国际共者 0件/フラオープンプラビス 7件)	
1.著者名	4.巻
Ochiai, Takehiko	56
2 . 論文標題	5 . 発行年
The Removal of 'Lunatics' from The Gambia to Sierra Leone in the 1930s	2023年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Ryukoku Law Reiview	173~189
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名	4.巻
金田知子	37
2.論文標題	5 . 発行年
精神障害を生きる():あるシエラレオネ人女性のライフヒストリー	2023年
3.雑誌名 女性学評論	6.最初と最後の頁 79~94
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名	4.巻
金田知子	18
2 .論文標題	5 . 発行年
暴力とハラスメントを伴う「かかわり困難事例」の理解と対応 : クライエントとソーシャルワーカーの援助関係に着目して	2023年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
ソーシャルワーク実践研究	28~36
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名	4.巻
Ochiai, Takehiko	54
2.論文標題 Colonial Psychiatry in British West Africa: Dr Robert Cunyngham Brown's 1936 Visit to Advise and Report on the Care and Treatment of 'Lunatics'	5 . 発行年 2023年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Asian Journal of African Studies	25~52
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著

1、書名名 深合 韓彦 2、論文得題 米母百アフリカの祖民地精神医療: ロバート・カニンガム・ブラウンによる、精神病者のケアと処遇に関 2の22年	***	
2. 納文標班 ※結婚アフリカの植民地特神医療:ロバート・カニンガム・ブラウンによる、精神病者のケアと処遇に関する1936年 する1936年に 調整論文の201(デジタルオブジェクト陽別子) 1. 著者名 溶合語と 2. 論文標題		4 . 巻
乗柄原アリカの佰民地特性医療: ロパート・カニンガム・ブラウンによる、精神病者のケアと処遇に関する1036年間 2022年 する1036年間 6. 最初と最後の百 1. 277 1. 277 10. 50873/10462 童話の有無 オープンアクセス 国際共著 1. 適名名名 清合独居 4. 巻 3. 解証名 スクとリ&アフリカ研究 5. 発行年 2023年 3. 解証名 会出班子 6. 最初と最後の頁 38 - 49 2. 論文理題 1930年代におけるガンピアからシェラレオネへの精神病者の修送 5. 発行年 2023年 3. 解証名 会出班子 6. 最初と最後の頁 37 2. 論文理題 情神障害を生きる(): あるシェラレオネ人女性のライフヒストリー 5. 発行年 2023年 3. 構設名 女性学評論 6. 最初と最後の頁 79 - 94 70 - 94 1. 差名名 第首 健居 第首 健居 東省ケーブ福民地におけるアサイラムの史的展開 4. 巻 32 1. 著名名 溶菌 健居 東省ケーブ福民地におけるアサイラムの史的展開 5. 発行年 2021年 3. 解試名 スワヒリ&アフリカ研究 6. 最初と最後の頁 42 - 64 4. 巻 3. 解試名 スワヒリ&アフリカ研究 6. 最初と最後の頁 42 - 64 4. 巻 3. 解試名 スワヒリ&アフリカ研究 6. 最初と最後の頁 42 - 64 4. 千 3. 解試名 スワヒリ&アフリカ研究 6. 最初と最後の頁 42 - 64 4. 千 3. 解試名 スプヒリ&アフリカ研究 6. 最初と最後の頁 42 - 64	落合 雄彦	55
乗柄原アリカの佰民地特性医療: ロパート・カニンガム・ブラウンによる、精神病者のケアと処遇に関する1036年間 2022年 する1036年間 6. 最初と最後の百 1. 277 1. 277 10. 50873/10462 童話の有無 オープンアクセス 国際共著 1. 適名名名 清合独居 4. 巻 3. 解証名 スクとリ&アフリカ研究 5. 発行年 2023年 3. 解証名 会出班子 6. 最初と最後の頁 38 - 49 2. 論文理題 1930年代におけるガンピアからシェラレオネへの精神病者の修送 5. 発行年 2023年 3. 解証名 会出班子 6. 最初と最後の頁 37 2. 論文理題 情神障害を生きる(): あるシェラレオネ人女性のライフヒストリー 5. 発行年 2023年 3. 構設名 女性学評論 6. 最初と最後の頁 79 - 94 70 - 94 1. 差名名 第首 健居 第首 健居 東省ケーブ福民地におけるアサイラムの史的展開 4. 巻 32 1. 著名名 溶菌 健居 東省ケーブ福民地におけるアサイラムの史的展開 5. 発行年 2021年 3. 解試名 スワヒリ&アフリカ研究 6. 最初と最後の頁 42 - 64 4. 巻 3. 解試名 スワヒリ&アフリカ研究 6. 最初と最後の頁 42 - 64 4. 巻 3. 解試名 スワヒリ&アフリカ研究 6. 最初と最後の頁 42 - 64 4. 千 3. 解試名 スワヒリ&アフリカ研究 6. 最初と最後の頁 42 - 64 4. 千 3. 解試名 スプヒリ&アフリカ研究 6. 最初と最後の頁 42 - 64	2	r 整仁在
する1939年開遊 6. 最初と最後の目 1. 報答法字 6. 最初と最後の目 掲載論文の001(デジタルオブジェクト機別子) 遺跡の有無 1. 著名名 4. 巻 2. 前交権盟 5. 集行年 1. 3848 6. 最初と最後の目 2. 前交権盟 5. 集行年 1. 38182 6. 最初と最後の目 2. 70 ヒリ&アフリカ研究 39 ~ 49 おおど 30 ~ 49 おおび 4 . 巻 おおび 30 ~ 40 おお		
8 計解音		2022年
		6 見知と見後の百
接職論文の001(デジタルオブジェクト機別子) 正統の有無		
1.50873/10462	能合法字	1~27
1.50873/10462	「埋載絵立のDO」(ごぶんルオブジェクト繰削ス)	本芸の右無
1 著名名 2		
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	10.50873/10462	
1 ・ 著者名 落合健彦	オープンアクセス	国際共著
落合諸序 34 2 . 論文標題 1930年代におけるガンピアからシエラレオネへの精神病者の移送 5 . 第行年 2023年 3 . 雑誌名 スワヒリ&アフリカ研究 6 . 最初と最後の頁 39 - 49 掲載論文のDOD(デジタルオブジェクト識別子) なし 国際共著 6 オーブンアクセス 国際共著 7 1 . 著者名 37 37 2 . 論文標題 精神障害を生きる() : あるシエラレオネ人女性のライフヒストリー 5 . 銀行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 79 - 94 掲載論文のDOD(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 2021年 1 . 著者名 落合 確彦 2 . 論文標題 英領ケーブ権民地におけるアサイラムの史的展開 5 . 銀行年 2021年 5 . 銀行年 2021年 3 . 雑誌名 スワヒリ&アフリカ研究 6 . 最初と最後の頁 42 - 54 4 . 巻 2021年 3 . 雑誌名 70 にリ&アフリカ研究 6 . 最初と最後の頁 42 - 54 4 . 巻 2021年 4 . 巻 30 ・ 3 ・ 3 ・ 3 ・ 3 ・ 3 ・ 3 ・ 3 ・ 3 ・ 3	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
落合諸序 34 2 . 論文標題 1930年代におけるガンピアからシエラレオネへの精神病者の移送 5 . 第行年 2023年 3 . 雑誌名 スワヒリ&アフリカ研究 6 . 最初と最後の頁 39 - 49 掲載論文のDOD(デジタルオブジェクト識別子) なし 国際共著 6 オーブンアクセス 国際共著 7 1 . 著者名 37 37 2 . 論文標題 精神障害を生きる() : あるシエラレオネ人女性のライフヒストリー 5 . 銀行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 79 - 94 掲載論文のDOD(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 2021年 1 . 著者名 落合 確彦 2 . 論文標題 英領ケーブ権民地におけるアサイラムの史的展開 5 . 銀行年 2021年 5 . 銀行年 2021年 3 . 雑誌名 スワヒリ&アフリカ研究 6 . 最初と最後の頁 42 - 54 4 . 巻 2021年 3 . 雑誌名 70 にリ&アフリカ研究 6 . 最初と最後の頁 42 - 54 4 . 巻 2021年 4 . 巻 30 ・ 3 ・ 3 ・ 3 ・ 3 ・ 3 ・ 3 ・ 3 ・ 3 ・ 3	. ***	. 24
2 . 論文標題 1930年代におけるガンピアからシエラレオネへの精神病者の移送 2 . 論文におけるガンピアからシエラレオネへの精神病者の移送 3 . 雑誌名 スワピリ&アフリカ研究 おし おし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著名名 金田知子 2 . 論文標題 精神障害を生きる() : あるシエラレオネ人女性のライフヒストリー 3 . 雑誌名 女性学評論 おし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 79 - 94 展觀論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし カープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著名名 落合 確応 2 . 論文標題 英領ケープ相民地におけるアサイラムの史的展開 3 . 雑誌名 スワピリ&アフリカ研究 4 . 巻 32 3 . 雑誌名 スフピリ&アフリカ研究 4 . 巻 32 3 . 雑誌名 スフピリ&アフリカ研究 4 . 巻 4 . 巻 3 . 雑誌名 スフピリ&アフリカ研究 4 . 巻 4 . 巻 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 スフピリ&アフリカ研究 4 . 巻 4 . 巻 5 . 発行年 2021年 5 . 最初と最後の頁 4 . 一 4 . 巻 5 . 最初と最後の頁 4 . 一 5 . 見初と最後の頁 6 . 見聞と最後の頁 7 . 日間歌共著		
1930年代におけるガンピアからシエラレオネへの精神病者の移送 3 ・雑誌名 スワヒリ&アフリカ研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス 1 ・著者名 金田知子 2 ・論文標題 精神障害を生きる() :あるシエラレオネ人女性のライフヒストリー 3 ・雑誌名 女性学評論 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 ・著者名 名	落合雄彦	34
1930年代におけるガンピアからシエラレオネへの精神病者の移送 3 . 雑誌名 スワヒリ&アフリカ研究 超載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス 1 . 著書名 金田知子 2 . 論文標題 精神障害を生きる() : あるシエラレオネ人女性のライフヒストリー 3 . 雑誌名 女性学評論 4 . 巻 37 3 . 雑誌名 カーブンアクセスとしている(また、その予定である) 3 . 雑誌名 女性学評論 オーブンアクセスとしている(また、その予定である) 4 . 巻 36 . 最初と最後の頁 79 - 94 加勝共著 オーブンアクセス 国際共著 1 . 著書名 名 . ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	2.論文標題	
3 .雑誌名 スワヒリ&アフリカ研究		
日報論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	1000平1012の17のカンピアカラノエフレカヤ、1007月1年7月日の1920	2020 T
掲載論文の201 (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 金田知子 2 . 論文標題 精神障害を生きる() : あるシエラレオネ人女性のライフヒストリー 3 . 雑誌名 女性学評論 掲載論文の201 (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 落合 雄彦 2 . 論文標題 英領ケープ植民地におけるアサイラムの史的展開 3 . 雑誌名 スワヒリ&アフリカ研究 4 . 巻 32 3 . 雑誌名 スワヒリ&アフリカ研究 4 . 巻 36 . 最初と最後の頁 42 - 54		6.最初と最後の頁
なし 有	スワヒリ&アフリカ研究	39 ~ 49
なし 有		
なし 有	掲載論文のDOL(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 - 1 著名名 金田知子 4 . 巻 37 5 . 発行年 2023年 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 79~94		
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 金田知子 2. 論文標題 5. 発行年 2023年 3. 雑誌名 6. 最初と最後の頁 79~94 79~94 1. 著者名 3. 雑誌名 4. 巻 3. 雑誌名 5. 表行中 2023年 3. 雑誌名 5. 最初と最後の頁 79~94 79~94 79~94 79~94 79~94 79~94 79~94 79~94 79~94 79~94 79~94 79~94 79~94 79~94 79~94 79~94 79~94 79~94 79~94 79~95 79~95 79~96 79~96 79~96 79~96 79~97	<i>'</i> 4∪	19
オーブンアクセスとしている(また、その予定である) -	オープンアクセス	国際共著
1 . 著者名 金田知子 4 . 巻 37 2 . 論文標題 精神障害を生きる():あるシエラレオネ人女性のライフヒストリー 5 . 発行年 2023年 3 . 雑誌名 女性学評論 6 . 最初と最後の頁 79 - 94 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 直読の有無 無 オーブンアクセス 国際共著 1 . 著者名 落合 維彦 4 . 巻 32 2 . 論文標題 英領ケーブ植民地におけるアサイラムの史的展開 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 スワヒリ&アフリカ研究 6 . 最初と最後の頁 42 - 54 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10 .18910/81406 査読の有無 有 オーブンアクセス 国際共著		
金田知子 37 2 . 論文標題 精神障害を生きる():あるシエラレオネ人女性のライフヒストリー 5 . 発行年 2023年 3 . 雑誌名 女性学評論 6 . 最初と最後の頁 79~94 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセス 国際共著 - 1 1 . 著者名 落合 雄彦 4 . 巻 32 2 . 論文標題 英領ケープ植民地におけるアサイラムの史的展開 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 スワヒリ&アフリカ研究 6 . 最初と最後の頁 42~54 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10 .18910/81406 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著		
金田知子 37 2 . 論文標題 精神障害を生きる():あるシエラレオネ人女性のライフヒストリー 5 . 発行年 2023年 3 . 雑誌名 女性学評論 6 . 最初と最後の頁 79~94 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセス 国際共著 32 1 . 著者名 落合 雄彦 4 . 巻 32 2 . 論文標題 英領ケープ植民地におけるアサイラムの史的展開 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 スワヒリ&アフリカ研究 6 . 最初と最後の頁 42~54 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10 . 18910/81406 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	1 . 著者名	4 . 巻
2 . 論文標題 精神障害を生きる():あるシエラレオネ人女性のライフヒストリー 5 . 発行年 2023年 3 . 雑誌名 女性学評論 6 . 最初と最後の頁 79~94 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 1 . 著者名 落合 雄彦 4 . 巻 32 2 . 論文標題 英領ケーブ植民地におけるアサイラムの史的展開 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 スワヒリ&アフリカ研究 6 . 最初と最後の頁 42~54 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18910/81406 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著		
精神障害を生きる():あるシエラレオネ人女性のライフヒストリー 2023年 3 . 雑誌名女性学評論 6 . 最初と最後の頁79-94 複載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 重読の有無無 オープンアクセス 国際共著 1 . 著者名落合 維彦 4 . 巻 32 2 . 論文標題 英領ケーブ植民地におけるアサイラムの史的展開 5 . 発行年2021年 3 . 雑誌名 スワヒリ&アフリカ研究 6 . 最初と最後の頁42-54 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)10.18910/81406 査読の有無有 オープンアクセス 国際共著	—···· -	
精神障害を生きる():あるシエラレオネ人女性のライフヒストリー2023年3 . 雑誌名 女性学評論6 . 最初と最後の頁 79 - 94掲載論文の001(デジタルオプジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著1 . 著者名 落合 雄彦4 . 巻 322 . 論文標題 英領ケーブ植民地におけるアサイラムの史的展開5 . 発行年 2021年3 . 雑誌名 スワヒリ&アフリカ研究6 . 最初と最後の頁 42 - 54掲載論文の001(デジタルオプジェクト識別子) 10.18910/81406査読の有無 有オープンアクセス国際共著	2.論文標題	5 . 発行年
3 . 雑誌名 女性学評論	精神障害を生きる():あるシエラレオネ人女性のライフヒストリー	
収集 79~94 電談論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 ボープンアクセス 国際共著 1.著者名 4.巻 落合 雄彦 32 2.論文標題 5.発行年 交領ケーブ植民地におけるアサイラムの史的展開 5.発行年 3.雑誌名 6.最初と最後の頁 スワヒリ&アフリカ研究 42~54 電職論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.18910/81406 有 オープンアクセス 国際共著		·
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	3.雑誌名	6.最初と最後の頁
書載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	女性学評論	79 ~ 94
無		
# は		査読の有無
オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1 . 著者名 落合 雄彦 4 . 巻 32 2 . 論文標題 英領ケーブ植民地におけるアサイラムの史的展開 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 スワヒリ&アフリカ研究 6 . 最初と最後の頁 42~54 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10 . 18910/81406 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	· ·	
オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1.著者名 落合 雄彦 4.巻 32 2.論文標題 英領ケーブ植民地におけるアサイラムの史的展開 5.発行年 2021年 3.雑誌名 スワヒリ&アフリカ研究 6.最初と最後の頁 42~54 8載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18910/81406 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	.50	////
1 . 著者名 落合 雄彦 4 . 巻 32 2 . 論文標題 英領ケープ植民地におけるアサイラムの史的展開 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 スワヒリ&アフリカ研究 6 . 最初と最後の頁 42~54 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18910/81406 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著		国際共著
落合 雄彦322.論文標題 英領ケープ植民地におけるアサイラムの史的展開5.発行年 2021年3.雑誌名 スワヒリ&アフリカ研究6.最初と最後の頁 42~54掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.18910/81406査読の有無 有オープンアクセス国際共著	オーブンアクセスとしている(また、その予定である)	-
落合 雄彦322.論文標題 英領ケープ植民地におけるアサイラムの史的展開5.発行年 2021年3.雑誌名 スワヒリ&アフリカ研究6.最初と最後の頁 42~54掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.18910/81406査読の有無 有オープンアクセス国際共著	1	<i>1</i>
2.論文標題 英領ケープ植民地におけるアサイラムの史的展開5.発行年 2021年3.雑誌名 スワヒリ&アフリカ研究6.最初と最後の頁 42~54掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18910/81406査読の有無 有オープンアクセス国際共著		_
英領ケープ植民地におけるアサイラムの史的展開2021年3.雑誌名 スワヒリ&アフリカ研究6.最初と最後の頁 42~548載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18910/81406査読の有無 有オープンアクセス国際共著	冷口 從/2	JŁ
英領ケープ植民地におけるアサイラムの史的展開2021年3.雑誌名 スワヒリ&アフリカ研究6.最初と最後の頁 42~54掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18910/81406査読の有無 有オープンアクセス国際共著	2 . 論文標題	5.発行年
3 . 雑誌名 スワヒリ&アフリカ研究 名載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10 .18910/81406 カープンアクセス 6 . 最初と最後の頁 42~54 査読の有無 有		
スワヒリ&アフリカ研究 42~54 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.18910/81406 有 オープンアクセス 国際共著	大保ノーノ1日に2017のアッコノムの大門(内)	2021 *
スワヒリ&アフリカ研究 42~54 曷載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.18910/81406 有 オープンアクセス 国際共著	3.雑誌名	6.最初と最後の百
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)査読の有無10.18910/81406有オープンアクセス国際共著		
10.18910/81406 有 オープンアクセス 国際共著	スノこうはテンラガ柳元	T4 J4
10.18910/81406有オープンアクセス国際共著	日書公立のロノブジカリナブジーカー部ロフン	木柱の左仰
オープンアクセス 国際共著		
	10.18910/81406	有
	オープンアクセス	国際共著
オーフファクセスとしている(また、その)やまである)	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	

1 . 著者名	4. 巻
Ochiai Takehiko	55
2.論文標題	
Lunatic Asylums in the British Cape Colony, 1846-1910	2022年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
龍谷法学	337 ~ 356
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.50873/10472	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
_〔学会発表〕 計5件(うち招待講演 0件/うち国際学会 0件)	
1.発表者名	
落合雄彦	

2 . 発表標題

植民地期のガンビアからシエラレオネへの精神病者の移送:1930年代を中心にして

3.学会等名 日本アフリカ学会第60回学術大会

4 . 発表年 2023年

- 1.発表者名 落合雄彦

2 . 発表標題

ガンビアからシエラレオネへ:1930年代の英領西アフリカにおける精神病者の移送

3 . 学会等名

第26回日本精神医学史学会大会

4 . 発表年

2023年

1.発表者名

落合雄彦

2 . 発表標題

植民地時代のナイジェリアにおけるハンセン病コントロール

3.学会等名

日本アフリカ学会第59回学術大会

4 . 発表年

2022年

1.発表者名 落合雄彦	
2 . 発表標題 1950年代のナイジェリアにおける精神科施設	
3.学会等名 日本アフリカ学会第58回学術大会	
4.発表年 2021年	
1.発表者名 落合雄彦	
2 . 発表標題 英領ケーブ植民地(南アフリカ)の5つの公立精神病アサイラム:1846-1910年	
3.学会等名 第24回日本精神医学史学会	
4 . 発表年 2021年	
〔図書〕 計2件 1.著者名	4.発行年
落合 雄彦、松田 素二、浜田 明範、平野(野元) 美佐、佐藤 千鶴子、松本 尚之、中村 香子、 佐久間 寛、阪本 拓人	2022年
2.出版社 晃洋書房	5 . 総ページ数 256
3.書名 アフリカ潜在力のカレイドスコープ	
1 . 著者名 Ochiai, Takehiko, Misa Hirano-Nomoto and Daniel E. Agbiboa eds.	4 . 発行年 2021年
2.出版社 Langaa RPCIG	5.総ページ数 ²⁷⁷
3.書名 People, Predicaments and Potentials in Africa	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6 . 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	金田 知子	神戸女学院大学・文学部・教授	
研究分担者	(Kanata Tomoko)		
	(10351850)	(34510)	

7.科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------